

2006 年度

科目名 幼児理解の理論及び方法（教育相談を含む）	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育福祉 2 回生	担当者 西尾 弘
授業テーマ 幼児教育における教育相談の理論と実際		
授業の概要と目標 本講座は、教職課程に関する科目の一つの「生徒指導、教育相談に関する科目」に位置づけられている。そのため「幼児理解の理論及び方法」の内容を、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識など）の理論と実際」の方向に焦点化して「幼児教育における教育相談（カウンセリング）の理論と実際」としてとりあげる。 具体的には、現代の学校・幼稚園などで重要な課題になっている「集団生活への不適応幼児・児童」に関するカウンセリング事例などを紹介し、臨床心理学の視点からの「幼児の理解と“こころ”のケア」の問題を中核にして講義を進める。		
評価方法 授業の出席とアンケート（25%）・講義資料のレポート（2, 50%）・期末の記述式テスト（25%）の三つを統合して行う。		
テキスト 毎授業時にレジュメを配付するので、テキストは使用しない。	著者	出版社
参考書 授業時のレジュメの中で、適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 学校（園）教育における「子ども理解と指導・援助」の視点と臨床心理学的な人間理解の視座 2. 学校（園）が行う教育相談（カウンセリング）の内容と教師（保育者）の役割 3. 幼児保育とカウンセリングマインド 4. 幼児教育（幼稚園・保育所）における生活指導の原理 5. 幼児教育における子ども理解の原理とその視点 6. 幼児の問題行動とカウンセリングの実際例 ～「登校拒否児（小1・男子）の遊戯治療の事例」を中心にして～ 7. 幼児の内面理解と方法の実際Ⅰ【3週間分を配当】 ～服部祥子著「精神科医の子育て論」（要約）を中心にして～ 8. 幼児の内面理解と方法の実際Ⅱ ～子どもの遊びの理解と保育の実際をめぐって～ 9. 幼児保育における表現活動の理解と実際 ～音楽・身体・絵画、言葉などの表現活動をめぐって～ 10. 心の表現としてのイメージとその活用 11. 幼児理解の実際例をめぐって ～教育実習生の「子どもの“こころ”の発見」記録を中心にして～		